

変動金利と固定金利

■変動金利

メリット

金利が低い

デメリット

金利が変動する

■固定金利

メリット

金利が変動しない

デメリット

金利が高い

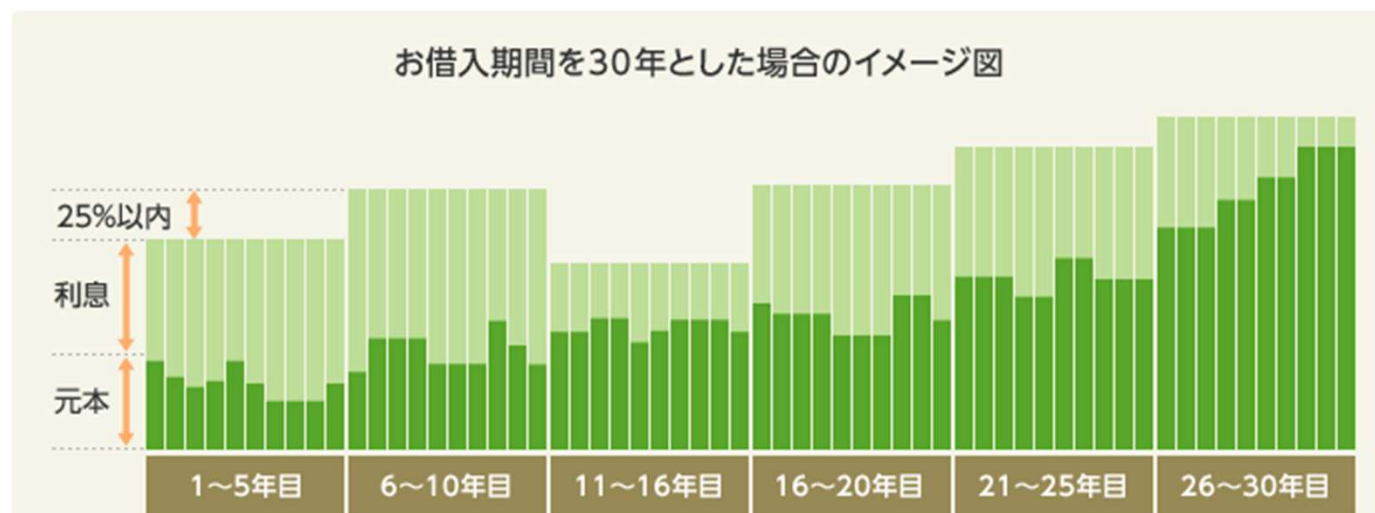
失敗しないポイント

それぞれの特徴を知りましょう。

5年ルール・125%ルール

変動金利では支払額5年間は固定でその後も5年ごとにしか支払額は変動しない。また、急激な金利上昇があったとしても月の支払額は最大でも25%までしか上がらない。

失敗しないポイント



変動金利は急激な金利上昇から守られている

5年固定・10年固定・全期間固定

■固定期間が長いほど金利は上昇していく。全期間固定が最も高く2.50%

■5年固定に着目した場合、固定期間が終了した場合、6年目で再び金利を選択することになるが、その際は金利が0.55%上昇する。

■銀行から特定の金利を勧めることはないが、金利の文字の大きさに部分固定金利へと誘導している

失敗しないポイント

1 当初変動金利 [金利選択型] ※本金利を適用するには下記「適用条件①」を満たすことが条件となります。

変動金利型 (年2回見直し) 年 **0.975%** 変動金利選択期間中は **1.75%** 金利見直し時点の住宅ローン店頭表示金利から

住宅ローン 店頭表示金利 変動金利型 **2.725%** (2019年4月1日現在) ※変動金利とは、基準金利の変動幅に応じて金利が変動する金利タイプです。基準金利の見直しは毎年4/1と10/1に行われます。

2 当初固定金利 [金利選択型] ※本金利を適用するには下記「適用条件①」を満たすことが条件となります。

(お借入時の固定金利)

5年固定	10年固定
年 1.05% (4月の店頭表示金利: ≒2.60%)	年 1.15% (4月の店頭表示金利: ≒2.70%)
2年固定 年1.05% (4月の店頭表示金利: ≒2.50%)	3年固定 年1.05% (4月の店頭表示金利: ≒2.55%)
15年固定 年1.65% (4月の店頭表示金利: ≒3.80%)	20年固定 年1.75% (4月の店頭表示金利: ≒4.25%)

※当初の金利は、毎月見直しが行われます。また、お申込時ではなく実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。

※一度適用条件②を満たされなくなった場合、その後上記の適用条件②を再度満たしても年1.0%の金利引下げは受けられません。(個人事業者の方は対象外となります。)

3 全期間固定金利 [全期間固定型] ※本金利を適用するには下記「適用条件①」を満たすことが条件となります。

15年固定 年1.60% 20年固定 年1.65% 25年固定 年2.35% 30年固定 年2.50% 35年固定 年2.50%

123の適用条件①

以下の(1)(2)ともに満たされる方

- (1) 当行の住宅ローンのみで新たにお借入れいただける方(無担保の社内融資との併用は可能です。)
- (2) ご返済用普通預金口座に給与振込または年金振込をご指定の方

○個人事業者の方、給与振込または年金振込のご指定をいただけない方は上記の金利に年0.3%上昇させた金利を適用させていただきます。

○保証料込型の住宅ローンは上記の金利に年0.2%上昇させた金利を適用させていただきます。

その後固定金利を選択される場合の金利

※本金利を適用するには下記「適用条件②」を満たすことが条件となります。

その後も **ずっとおトク**

店頭表示金利より 年 **▲1.0%** (マイナス) 適用条件②

(1) ご返済用普通預金口座に給与振込または年金振込をご指定の方

(2) ご契約後、西日本シティ銀行からのお借入金のご返済に遅れない方

銀行にとっては固定金利の方が得をする